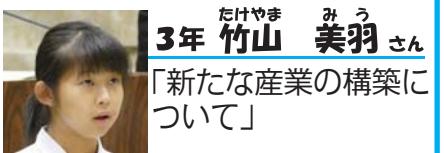


度島中学校

3年 角野小真知さん
「産業について」3年 赤木 乃愛さん
「産業について」3年 竹山 美羽さん
「新たな産業の構築について」

Q 今後も農業・漁業を持続させるためにも、若者へのサポートが重要。現状と今後のサポートは?

A 関係機関と連携し、技術研修の場の設定やその後のフォローアップ、研修期間中の生活資金の支給などを行なっている。今後も一人でも多くの若者に就業してもらえるよう、産地と一体となって新規就業者を育していく取り組みを推進していく。

Q 平戸産品のブランド化事業について、どのようなことに取り組んでいるか。

A 首都圏、関西圏、福岡都市圏でアンテナショップや公認飲食店の開設、総合デパートでの観光物産展など、平戸の知名度向上や販路・取引拡大を図れる取り組みを行なっており、地元生産者や加工業者などの所得向上にもつながっている。

Q 雇用機会拡大のために行なっていることは? 将来、ビジネスを始める場合、市から何らかの支援はあるか。

A 地場企業の設備投資の促進や市外から優良企業を誘致し、雇用機会の拡大を図る。新たにビジネスを始める際には、商工団体などと連携し、専門家を招いての勉強会や個別創業相談会を実施。操業する際に必要な資金の一部補助を行なっている。

中学生が
市政を問う!

平成30年度平戸市子ども議会開催

8月10日(金)、平戸市議会議場で「平成30年度平戸市子ども議会」を開催しました。本年度より市内の中学校を2つのグループに分け、今年度は5校の中学校から各3人が学校代表として一般質問を行いました。子ども議員の皆さんは、最初は緊張した面持ちでしたが、一般質問が始まると堂々と登壇し、素晴らしい議論を繰り広げました。



平戸中学校

2年 山口 順太さん
「平戸市の教育について」3年 濱田 康生さん
「スポーツの競技力向上について」3年 岸 泰さん
「スポーツの競技力向上について」

Q 学力向上のために、生徒が理解しやすい環境整備が望まれる。どう取り組もうとしているのか。

A I C T 教育環境の整備やイングリッシュ・タウン事業など独自政策を交え、学力向上を目指している。全国調査では、市内半数の学校が県の平均を上回っている。全体を良くするために、皆さんを中心になって高め合う雰囲気を作ってもらいたい。

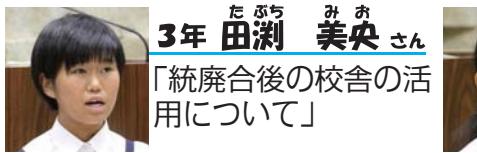
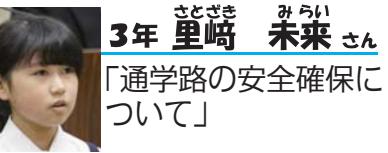
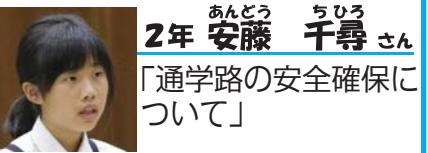
Q 全国レベルの選手育成のために、どのような方策を考え、実行しているのか。

A 生徒数の減少により部活動の維持が大変なところもあるが、活躍する選手もいるので、現状を伸ばす支援を考えている。そのために、レベルの高い相手との対戦機会の創出、指導力の向上、全国大会など遠征を後押しする補助制度を推進する。

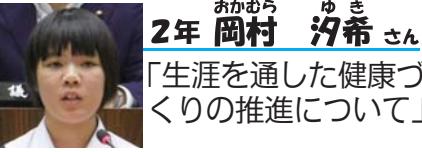
Q 市全体の競技力向上のために、優れた指導者を誘致したり、技能向上を図れる企画を考えているのか。

A 本市のスポーツを推進する組織として、平戸市体育協会がある。競技団体によっては、大会の企画運営や外部コーチなどの指導者を見つける手助けも行なっていただいている。選手自らがメリハリを持って取り組める環境整備を支援していきたい。

南部中学校

3年 田淵 美央さん
「統廃合後の校舎の活用について」3年 里崎 未来さん
「通学路の安全確保について」2年 安藤 千尋さん
「通学路の安全確保について」

中部中学校

2年 柳原健太郎さん
「生涯を通した健康づくりの推進について」2年 岡村 汐希さん
「生涯を通した健康づくりの推進について」2年 藤澤 直弥さん
「文化財の保存について」

Q メタボの該当者が男女ともに県内の市町村で第1位であった。市民もこの状況を知らないはず。周知すべき。

A メタボ状態は痛くもかゆくもなく、改善に关心を持たせることが難しい。昨年、広報ひらどで特集を組み、健康づくりの取り組みについてお知らせした。出前講座や各地区的健康づくり推進員さんと協力し、健診の大しさをもつと伝えていきたい。

Q メタボになる前に、市民一人一人が生活習慣を見直したり、健康意識を高める取り組みを考えています。

A 平戸市の健康診査の受診者は、平成29年度で3,892人、受診率は55.7%と県内の市では1位であった。土曜日・日曜日の休日健診や、夜間健診も行なっているので活用してもらいたい。皆さんも「早寝早起き朝ごはん」で、ぜひ規則正しい生活を。

Q 今回世界遺産に登録された場所だけでなく、平戸には関連する場所が多くある。どう守っていくのか。

A 神聖な場所での振る舞い方を知らないであろうことに着目し、観光客に文化財の価値や見学マナーを伝える取り組みを進めている。地域の宝に触れてもらうことで、自分のまちを誇りに思うことにもなる。適切な活用で、宝を未来につなげていく。

生月中学校

2年 平松 育弥さん
「平戸市の財政状況について」3年 立石 澄さん
「平戸市の財政状況について」2年 塚本 恵哉さん
「平戸市の行財政経営について」

Q 平戸市が夕張市のように財政破綻した場合どうなるか。そういうために私たちできることは?

A 市民税・水道料金の引き上げ、公共施設の廃止や市の裁量で予算を編成できなくなる。中学生の皆さんには、公共施設の備品などを大切に使い、また、学業に専念し、将来の平戸市を担う人材として十分な知識を身につけてほしい。

Q 現在の平戸市の財政状況など、過去10年との比較や今後10年の見通し、県内市町との比較について問う。

A 財政健全化に積極的に取り組んでおり、財政状況は良好。今後10年は、現時点では人口減少などにより税収などが減少し、予算規模も縮小されると考える。本市の財政は他市町と比較すると厳しい状況であり、今後も一層財政健全化に努める。

Q 現在の平戸市の行財政運営は具体的にどのようなものか?

A 現在、行財政運営は良好だが、人口減少が続く今後を予測すれば大変厳しい状況にある。財政収支の均衡を保つため、平戸市財政健全化計画・第2次計画を策定し、平成29年度から5カ年の改善目標額を5億円減額と定め、最終的な目標数値を達成するための取り組みを推進している。